

## 2024 年度 芸術奨学金(修士) 募集要項 (音楽・造形芸術・デザイン・映像・パフォーマンスアート・建築分野向け)

### 1. 概要

本奨学金は、ドイツの国公立、あるいは国から認可された大学の大学院において、芸術分野（音楽、造形芸術、デザイン、ヴィジュアルコミュニケーション、映像、パフォーマンス〈演劇・演出・ダンス・振付〉、建築〈室内装飾、文化財保存、既存建築物改装、旧建築物整備、都市計画、ランドスケープデザイン、景観計画〉etc.）で修士号を取得、または上級課程で研鑽を重ねる（音楽専攻は、Konzertexamen や Meisterklasse）ことを目的としたものである。さらに、同分野の人々との様々な経験の交換やネットワーク構築も本奨学金によって支援される。

### 2. 給付期間

#### 1) ドイツでの学位取得を目的とする場合

- 10～24 ヶ月
- 奨学金は原則的に留学先の通常修業年数の期間（最長 24 ヶ月）支給される。2 年間の課程の場合、1 年修了時に通常修業年数内で学位取得が可能であるか、それまでの学業成績に基づいて審査され、残りの給付期間の延長が決定する。
- 音楽専攻者は、場合によって給付延長が可能（ただし Konzertexamen や Meisterklasse といった上級課程への進学の場合に限る。とりわけ優秀な候補者に対しては、さらに最大で 2 年間の延長が認められる。）
- **2024 年の冬学期（10 月 1 日開始）からドイツの修士課程に進学する方のみが対象となる。奨学金応募締切以前に既にドイツの修士課程に属している者の応募は認めない。**入学を 2024 年夏学期に予定しているときは、その課程に入学できるのが夏学期のみである（その専攻を冬学期に開始するという選択肢がそもそも存在しない）ことを証明できる場合のみ応募可。

#### 2) ドイツでの学位取得や課程修了を目的としない留学の場合

原則として 1 年（2 学期）。個別の状況に応じて延長可能となることもある。

※1)と2)いずれの場合も支給開始時期は 2024 年 10 月。但し、10 月より前に、DAAD 負担による現地での語学研修が義務付けられる場合もある。また、大学が 9 月から始まる場合、支給開始は 9 月に前倒しになる。

### 3. 給付内容

- 1) 月額 934 ユーロ
- 2) 毎月の健康・傷害・個人賠償責任保険への無料加入。
- 3) **旅費補助**（1,000～1,300 ユーロ。但し、他の機関から支払われない場合に限る。）
- 4) 研究補助（1 回限り）
- 5) 場合によっては家賃補助、家族手当、障害・疾患手当などが支給されることもある。
- 6) ドイツ語学習補助（詳細は奨学金採用時に通知）
  - 奨学金採用時点からオンラインドイツ語自己学習コースへの無料参加が可能。
  - 奨学金開始前に、2、4、または 6 ヶ月間の現地での語学研修が付与されることがある。語学研修への参加と期間は奨学生のドイツ語能力と研究計画に応じて決定される。留学先の課程での使用言語がドイツ語の場合、付与されたドイツ語研修への参加は義務となる。
  - 留学期間中に奨学生が自ら進んでドイツ語コースに参加する場合、その費用補助。
  - 奨学金採用時点から支給終了まで、日本またはドイツでのドイツ語試験（TestDaF または DSH）の受験料を 1 回に限り DAAD が負担する。
- 7) DAAD は大学の授業料は負担しないので、応募者の自己負担となる（但し、国公立の大学の場合、一部例外を除き、ドイツでは授業料は殆ど発生しない）。

## 4. 応募資格

- 1) 応募の時点で最終の卒業、修了もしくは学位取得時より6年を超えていないこと(病気や子育て等の理由がある場合、例外が認められることもある。詳細は DAAD 本部の“[Wichtige Hinweise zu den DAAD-Stipendien/ Important information for scholarships applicants](#)”を参照)。
- 2) ドイツ在住の応募者は、応募の時点でドイツでの滞在が15ヶ月以下であること。
- 3) 留学先課程の中に、ドイツ以外の第3国へさらなる留学やインターンが組み込まれている場合、以下の条件を全て満たしていること。
  - 留学目的の達成のためその第3国での滞在が必要不可欠であること。
  - 第3国への滞在期間が奨学金支給期間の4分の1を超えないこと。これを超える滞在は奨学金支給の対象とならない。
  - 滞在地が日本でないこと。
- 4) 全日制の課程のみが助成の対象となる。通信制・定時制の課程、E-ラーニングが大部分の課程等は対象とならない。
- 5) 奨学金授与は、ドイツの大学の入学許可を意味しない。各大学が個別に奨学生の入学を決定する。芸術分野の専攻の場合、入学試験への合格が必要になることが多い。応募者は各自で希望大学の入学・応募条件、試験の日程を確認すること。これらは大学での授業開始より数か月前、または DAAD 奨学金審査の決定以前となる場合もあるので注意すること。DAAD は入学試験受験のための費用は負担しない。最終的に大学からの入学許可が出なかった場合、奨学金も支給されない。
- 6) 大学によって年齢制限がある場合がある。奨学金応募の前に自身が大学への応募資格を満たしているか必ず確認をすること。
- 7) 美術史・音楽史や芸術学・演劇学といった学術分野での留学の場合は本奨学金には応募できない。他の DAAD 奨学金プログラムを参照すること。
- 8) 建築専攻の場合、Design/Projects の分野のみが助成対象となる。留学を希望する課程において、Design/Projects の授業に対して以下記載の CP (ECTS に基づくクレジットポイント) が割り当てられていることを確認すること: 120CP の課程の場合は最低 45CP、90CP の課程の場合は最低 34CP、60CP の課程の場合は最低 23CP

## 5. 言語能力

言語能力は留学先の受け入れ条件による。演劇・演出分野応募者には、非常に優れたドイツ語能力が求められる。ミュージカル、パフォーマンス・スタディーズ、ダンス、振付け分野応募者は、少なくとも基本的なドイツ語能力および十分な英語能力が求められる。奨学金応募時には明確な言語レベルの規定はない(ドイツ語で行われる建築分野の課程に応募する場合には、例外的に B1 レベル以上のドイツ語が必要)が、留学希望先の大学が求めるレベルに達している、または入学時までには達せられる見込みがあることが望ましい。

## 6. 応募方法・書類

応募申請は [DAAD ポータル](#) より行う。ポータルから申請書をダウンロードし、記入後にその他の書類と併せてアップロードをする。その後、ポータル上で各応募書類が1つの PDF データ (Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary) として送られて来るので、これを [和文申請書](#)、推薦状と一緒に DAAD 東京事務所へ郵送すること。和文申請書以外の書類はすべてドイツ語または英語で作成すること。作品の提出方法については、下記をそれぞれ参照すること。

### DAAD ポータル上での提出書類(ドイツ語または英語)

- 1) **応募申請書**: DAAD ポータル上で書式をダウンロードして作成する(募集期間のみポータル内を閲覧できる。募集期限後は、次回募集時まで閲覧不可となる)。
- 2) **履歴書**: 空白の時期がないよう詳しく記載する。
- 3) **留学計画書・動機文**(書式自由、3ページ以内)

※作成に際しては、DAAD 本部の“[Wichtige Hinweise zu den DAAD-Stipendien/ Important information for scholarships applicants](#)”ページ内の B-I も適宜参照すること。

#### 4) 入学許可書、志望校についての証明書

##### ● ドイツでの学位取得を目的とする場合

- 志望校報告書(ドイツで修士号取得の場合のみ): [所定用紙](#)は DAAD 東京事務所のホームページよりダウンロード可(音楽専攻者の場合→[こちら](#))。
- 入学許可書(ある場合のみ)。入学許可がまだ出ていない場合は、奨学金支給開始までに提出すること。
- 可能であればドイツの大学教授からの受入承諾書(音楽専攻者のみ)

##### ● ドイツでの学位取得を目的としない留学の場合

- ドイツの大学教員からの受入承諾書

#### 5) 大学の全課程(在学中の課程も含む)の学業成績証明書

6) 大学の全課程の卒業、修了証明書: 在学中のため卒業・修了証明書が提出できない場合、在学証明書を代わりに提出すること。その場合、奨学金採用時に卒業・修了証明書を追加で提出すること

#### 7) 日本語で提出した書類のドイツ語又は英語訳

#### 8) 語学能力証明書(応募時から 2 年以内に取得したもの。留学先での使用言語に応じて提出)

- 独語の場合: TestDaF, DSH, DSD, Goethe-Zertifikat, ÖSD, telc Deutsch(建築分野応募者の場合、B1 レベル以上)
- 英語の場合: Cambridge English, Cambridge Business, IELTS, ISE, TOEFL iBT, TOEFL Essentials, TOEIC, PTE Academic など。
- 原則として取得から 2 年以内であること。独語・英語両方提出も可。
- 留学先の大学が語学能力証明書の提出を求めている場合も、奨学金応募時には提出すること。

9) その他の書類(ある場合のみ): インターンシップや就労証明書など、自身が応募に際してプラスになると判断する書類(英語または独語での発行が難しい場合、応募者による翻訳も可。但しその場合、応募者が自身で翻訳した旨を翻訳した文面に必ず記載し、併せて日本語の原本も添付すること。)

#### 10) 提出作品に関するリスト(パフォーミングアーツ分野は必要なし。)

##### ● 音楽分野

- 曲目リスト(所定用紙あり(独/英))※作品提出時にも再提出の必要あり。
- 記載方法は“[Zusätzliche Information/ Additional Information](#)”を参照すること。

##### ● 造形芸術・デザイン・映像/ 建築分野

- 提出作品の詳細情報(大きさ、作成日、作成場所等)を明記したリスト(リストの作成方法は、各分野の“[Zusätzliche Information/ Additional Information](#)”を必ず参照すること。)
- 提出作品が、応募者個人によるものか、共同制作によるものかの説明。共同研究作品、共同プロジェクトの場合は、応募者の担当部分が分かるようにすること。またその記述内容が正しいことを説明する申請書(建築応募者には DAAD のウェブサイトにも[所定用紙](#)あり。)

#### 11) 推薦状 I 通(任意提出。本書類が無くても応募可。ドイツ語または英語。書式は自由だが、DAAD ポータル上のフォーマットの使用も可。)

- DAAD ポータル内の“[Gutachten anfordern/ Request reference](#)”から必要事項を入力して、推薦状の PDF フォーマットを作成する。そしてそのデータを推薦者にメールで送り、記入してもらう(PDF データは PC 上で書き込み可能)。記入後、署名したものを推薦者に返送してもらい、ポータル上の“[Gutachten / Letter of Recommendation](#)”にアップロードする。
- 推薦者は、応募者の学力および人物についてよく知る大学教員(専門の教師)1名

#### 指定リンク先への作品のアップロード(DAAD ポータルにはアップロードしないこと。)

##### ● 音楽分野

DAAD ポータルでの上記書類提出終了後、2 週間以内に作品提出用のリンクが送られる。リンクを受け取ってか

らさらに2週間以内にリンク先へ作品と曲目リストをアップロードすること。アップロードする作品のフォーマットは、オーディオの場合は mp3 または wav、ビデオの場合は mp4 であること。提出作品についての詳細は“[Zusätzliche Information/ Additional Information](#)”を参照すること。

● **その他の分野**

上記書類提出終了後、応募条件を満たし、書類に不備がなかった応募者にもみ、提出作品アップロード用のリンクが送られる。各分野の“[Zusätzliche Information/ Additional Information](#)”にある指示に沿って、それぞれの締切日までに、リンク先に作品を提出すること。

**建築**

アップロード締切: 2023 年 11 月 7 日 ([Zusätzliche Information/ Additional Information](#))

**パフォーマンスアート**

アップロード締切: 2023 年 11 月 30 日 ([Zusätzliche Information/ Additional Information](#))

**造形芸術・デザイン・映像**

アップロード締切: 2024 年 1 月 10 日 ([Zusätzliche Information/ Additional Information](#))

**郵送書類 (DAAD 東京事務所宛) ※全ての応募者**

- 1) 和文申請書 | 通 ([所定用紙](#)あり。DAAD 東京事務所の HP からダウンロード可。)
- 2) 応募書類一覧 (Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary) | 部:  
DAAD のポータル上で書類提出後、応募書類が Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary という一つの PDF データとして送られてくる。これを | 部印刷したものを提出。応募締切間近はこのデータが送られてくるまでに数時間~丸一日程度かかることもあるので注意すること。
- 3) 推薦状 | 通 (任意提出。本書類が無くても応募可。ドイツ語または英語。書式は自由だが、DAAD ポータル上でのフォーマットの使用も可。): 形式については上記を参照。記入後、署名したものを推薦者に封筒に入れて返送してもらい、その他の郵送書類に添えて提出すること。

**郵送書類提出先 (持ち込み不可)**

〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館 1F  
ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京事務所 奨学金担当 宛  
※封筒に「奨学金応募書類在中」と朱書きすること。

**応募期限 (郵送書類は消印有効)**

音楽: 2023 年 9 月 28 日  
建築分野: 2023 年 9 月 25 日  
舞台芸術 (演劇、演出、ダンス、振付け): 2023 年 11 月 2 日  
造形芸術 (絵画、彫刻等)・デザイン・映画: 2023 年 11 月 30 日

## 7. 選考

本奨学金は国内選考を行わず、ドイツの大学教授からなるポンの DAAD 本部の専門委員会において、応募書類と提出された作品によって審査が行われる。結果は、翌年の 4~5 月末頃までに DAAD ポータルを通して本人に通知される。

**注 意:**

- ① 特に記述の無い場合、証明書類はすべてコピーで良い。合格者には最終決定後これらの証明書の原本提出を個別に依頼することがある。
- ② 開封無効の成績証明書等も自身で開封してポータルからアップロードする。
- ③ 提出書類のサイズはA4で統一すること。**両面印刷は禁止。**
- ④ 提出書類に不備があった場合、いかなる理由であっても応募は無効となる。
- ⑤ DAADのポータルは応募締切日の24時(中央ヨーロッパ標準時 (MEZ))に閉鎖される。
- ⑥ 締切後の書類提出はいかなる理由があっても受け付けない。
- ⑦ **締切日当日にDAADポータルから提出する場合、技術的なトラブルをはじめ、毎年様々な問題が発生し、応募ができない者が続出している。それ故、余裕を持って、可能な限り締切日前日までにポータル上での応募を完了させることを推奨する。**
- ⑧ 応募書類は返却されない。また、応募者のデータは応募手続きの処理に必要な限り、ドイツ連邦データ保護法とEU一般データ保護規則に則りDAADに保管される。
- ⑨ 書類については、DAAD東京事務所HPの「[よくある質問](#)」も参照すること。
- ⑩ ポータルについてはDAAD本部のマニュアル([独/英](#))も参照すること。
- ⑪ 書類の東京事務所への持ち込みは**一切受け付けない**。
- ⑫ 本募集要項は独語・英語の原文を基にしたもので、一部内容を省略・補足している。必ず原文も参照すること。

※本奨学金は、ドイツ外務省からの資金提供を受けています。

**奨学金に関する問い合わせ先:**

- Tel: 03-3582-5962 (受付時間は DAAD 東京事務所のホームページを確認すること。)
- E-Mail: [scholarships@daadjp.com](mailto:scholarships@daadjp.com)